

ウッドストックがやってくる！ (2009)

TAKING WOODSTOCK

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ コメディ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 121分

初公開日 2011/01/15

公開情報 フェイス・トゥ・フェイス

映倫 R15+

【キャッチコピー】

世界で最も有名な野外フェス

“ウッドストック”はこうして始まった。

40年の時を越えて“刺激的”な舞台裏が今ここに蘇る！ これは真実の物語

【解説】

1969年に行われた歴史的野外音楽イベント“ウッドストック・フェスティバル”。本作は、ふとしたきっかけからその誘致に奔走し、成功させたエリオット・タイバーの回想録を、「ブロークバック・マウンテン」「ラスト、コーション」のアン・リー監督が映画化した青春ストーリー。世紀のイベントの舞台裏に立ち会った一人の青年の目を通して、その混乱と狂騒の日々を瑞々しく綴る。主演は、スタンダップ・コメディアンとして活躍し、本作が本格的な映画デビューとなる若手俳優のディミトリ・マーティン。

1969年夏。ニューヨークでインテリア・デザイナーとして活躍する青年エリオットの悩みの種は、郊外の小さな町ホワイトレイクで両親が経営しているおんぼろモテルのこと。借金がかさみ、銀行から営業停止を迫られているこのモテルをなんとか救済しようと奔走するものの、返済のメドは一向に立たなかった。そんな時、近隣の町ウォールキルで行われる予定だったウッドストック・フェスティバルが地元住民の反対で中止の危機に直面していると知ったエリオット。彼は、これをホワイトレイクに招致してモテルの宿泊客増加を目論む。すぐさま主催者と掛け合い、思いの外とんとん拍子に話が進んでいくのだったが…。

【クレジット】

監督	アン・リー	Ang Lee
製作	ジェームズ・シェイマス	James Schamus
	セリア・コスタス	Celia Costas
	アン・リー	Ang Lee
製作総指揮	マイケル・ハウスマン	Michael Hausman
原作	エリオット・タイバー	Elliot Tiber
	トム・モンテ	Tom Monte
脚本	ジェームズ・シェイマス	James Schamus
撮影	エリック・ゴージェ	Eric Gautier

『ウッドストックがやってくる』
(河出書房新社刊)

プロダクションデザイン	デヴィッド・グロップマン	David Gropman	
衣装デザイン	ジョセフ・G・オーリシ	Joseph G. Aulisi	
編集	ティム・スクワイアズ	Tim Squyres	
音楽	ダニー・エルフマン	Danny Elfman	
出演	デミトリ・マーティン	Demetri Martin	エリオット・タイチバーグ
	ダン・フォグラ	Dan Fogler	デヴォン
	ヘンリー・グッドマン	Henry Goodman	ジェイク・タイチバーグ
	ジョナサン・グロフ	Jonathan Groff	マイケル・ラング
	ユージン・レヴィ	Eugene Levy	マックス・ヤスガー
	ジェフリー・ディーン・モーガン	Jeffrey Dean Morgan	ダン
	イメルダ・スタウントン	Imelda Staunton	ソニア・タイチバーグ
	ポール・ダノ	Paul Dano	フォルクス・ワーゲン男
	ケリ・ガーナー	Kelli Garner	フォルクス・ワーゲン女
	メイミー・ガマー	Mamie Gummer	ティシャ
	エミール・ハーシュ	Emile Hirsch	ビリー
	リーヴ・シュレイバー	Liev Schreiber	ヴィルマ